

令和4年度 特定非営利活動法人さくらおろち 事業報告書

(1) まちづくりの推進を図る事業

- ① 尾原ダムが完成し10周年を迎え、実行委員会を組織し、「尾原ダム完成10周年記念の集い」と「さくらおろち湖まつり」を開催し、盛大に開催した。

6月：日本河川協会：河川功労者表彰受賞

11月：手づくり郷土（ふるさと）賞 奨励賞受賞

- ② 水の縁推進事業(観光レクリエーション/HP管理運営)／尾原ダム周辺整備管理事業

さくらおろち湖周辺において「体験プログラム」や「遠足の誘致」など、様々な上下流交流事業を実施するとともに、周辺施設や地元住民の活動をホームページ・SNS・広報誌・メディア等を活用し、情報の発信を行った。

- ③ 水の縁推進事業（植栽・景観創出）

雲南市内の4団体（温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、出雲七福そばクラブ、いずも八山椒旬、大原森林組合、(株)雲南 TRC）に、景観作物（蕎麦・キシツツジ・山椒等）の育成と管理を依頼。また、「トレイルランニングレース」のコース整備や「記念植樹」などを行い、さくらおろち湖周辺の景観整備を実施した。

- ④ クレスト点検放流イベント事業（雲南市／奥出雲町）

コロナ禍のため、この3年間開催を自粛及び縮小してきた尾原ダムクレスト試験放流に合わせ、イベントを開催し島根県内在住者を中心に1500人を超える来場者があった。この放流イベントは奥出雲地域に春の到来を告げるイベントとして定着してきている。

- ⑤ 雲南市尾原ダム周辺地域活性化事業推進事業

さくらおろち湖活性化ネットワーク会議を年3回開催し、地域住民・関係団体・行政とさくらおろち湖周辺の活動状況等を確認し、今後の取り組みや問題解決に向けた意見交換を行った。尾原ダム水源地域ビジョンは1期10年が経過し、第2期計画が策定され、「つなげよう、育てよう、生かそう「さくらおろち湖」みんなで、やら〜や」をスローガンに地域活性化と上下流交流が図られることとなった。

(2) 社会教育の推進を図る事業

- ① 県民参加の森づくり事業（みーもスクール）

雲南市2校・奥出雲町の小学校4校に出かけ、「竹・雑木林・人工林」をテーマとした自然工作や自然体験等の授業を各校年3回実施し、森林環境保全の大切さを伝えた。

- ② 尾原ダム・さくらおろち湖 探検ツアー

雲南市・奥出雲町の小学生を対象とし、尾原ダムの見学や水生生物の調査を行うことによって水の大切さを知ってもらうとともに、さくらおろち湖周辺で伐採した竹を使った竹筒ごはん体験活動を実施。生き物調査及び森林の保全活動の大切さを楽しみながら学んでもらった。

③ さくらともみじの植樹事業

平成 27 年～平成 30 年に植樹を実施した、自転車競技施設の植樹帯の下刈り及び伐開を行った。
これまで植樹した桜が成長し、花見が楽しめるのも間近になっている。

④ 100 年先も誇れる彩の森づくり事業（緑の募金）

(3) 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動

① さくらおろち湖周辺スポーツ施設管理

自転車競技施設・ボート競技施設の管理業務を行った。（施設内の消毒・清掃等）

② 尾原農村公園指定管理

尾原農村公園の管理業務を行った。（グラウンド整備・清掃・草刈り・備品貸出し等）

③ ランニングバイク場管理・点検委託業務

ランニングバイク場「キッズバイクパーク Orochi」及びランニングバイクの備品の管理と点検を行った。

(4) 環境の保全を図る活動

① 水の緑推進事業（景観・環境保全）

雲南市内の 4 団体（さくらおろち湖をきれいにする会、木次乳業(有)、NPO 法人ふるさと雲南、シルバー人材センター）に草刈り等を依頼し、さくらおろち湖周辺の環境整備を行った。

② 企業 CSR 活動事業

斐伊川流域の企業と連携し、さくらおろち湖周辺の草刈り等の環境整備を、年 2 回実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、日時と実施場所を分散して行った。

③ 島根県企業局源流保全支援事業

森林が持つ水源涵養機能を高め、環境を保全することを目的として、木次スポーツ少年団や地域住民が参加するカエデの植樹を実施した。

④ 河川等美化事業・草刈事業

尾原農村公園下、斐伊川沿いの草刈りを実施し、景観保全活動を行った。

⑥ 全国植樹祭 雲南会場植樹管理（R3～5）

ランバイク場付近の全国植樹祭雲南会場の植樹帯の草刈り等管理作業を行った。

⑦ ヨシチップ化事業

宍道湖湖岸に自生するヨシを刈り取ることで水質を保全するとともに、刈ったヨシをチップ化し、堆肥や草押さえとして活用する活動を行った。